館報たつおか

発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館広報部
印刷所
信州印刷株式会社
松本市巾上電②5686

防災を考える

日常の火の用心を

危険度の高い 時又商店街

▽…八月中に時又地区では、二回の火災発生を記録した。幸にして被害は最…△
▽…少限にとどめられたがこの二件の出火と、先日の竜丘消防団夜間非常招…△
▽…集訓練の折、飯田市消防団副団長の訓辞の中で「飯田市の防災を検討し…△
▽…た結果、時又商店街は火災発生の場合、最も危険な地区の一つである。…△
▽…十分注意を望みたい。」と指摘された。この二つの教訓から時又商店街…△
▽…の防災（火災）について研究してみたい。……△

ます組合立消防署に問い合わせてみた。「国の消防力測定の基準」で時又商店街を採点してもあまり良い結果が得られない。採点の公表は出来ない。」とのこと。

その国の消防力測定基準とは、①地勢。②気象状況。③建物構造④建ペイ率。⑤道路状況。⑥水利⑦人命危険建物。の以上七点から測定が行なわれる。この七点を時又商店街にあてはめてみると、〃地勢〃は、天竜川に面した段丘地に、天竜川と平行に国道を走らせる坂道に家屋がびっしりと並ぶ商店街が形成されている。〃気象状況〃は段丘傾斜地と天竜川の条件をみると日常の風に合わせて、火勢を強くする大風を呼ぶ不利な条件を持っている。〃建物構造〃は時又港として栄えた当時の明治、大正頃の建物が多くそれは木造建築。水害後に建築された所も、新たな問題、新建材と煙害の問題点を持っている。〃建ペイ率〃は建物構造の弱点に合わせて、家と家との空間がほとんど無い密集住宅商店街で、延焼はまちがいなし、火勢を止める耐火建物があまり無く、消防活動が十分に出来ない弱点がある。〃道路状況〃は国道一五一号線が天竜川と平行して走り他の道路と接続のない一本道と言って良い危険性、地元以外の消防の到着が遅くなる点と、バイパスが出来ても交通量が減らない点で交通遮断も困難。〃水利〃であるが、道路状況の不利に合わせて、水利が非常に少ない。天竜川・新川と自然の水利を生かされない事と、消火栓がたった一本あるだけという心細さ。〃人命危険建物〃が時又商店街に多いことです。人命危険建物とは、木造三階建以上の家のことで、天竜川に面した、下屋造りも含む家屋が、天竜橋附近に多く逃げる時の人命危険度が非常に高い。以上の七点から時又の火災に対しての危険性がわかる

地元の消防団時又班では、今までにも時又の防災について、特に商店街の防災について研究と討議を行い、火災戦斗図も出来てはいるが、今回の二件の火災発生の教訓と照らし合わせても、数年前の実地調査がもとになっている為、現在の実情に合わなくなり、今回を契機に、全団員で実地調査を九月十二日に行い消防戦斗図が完成した。又初期消火という点で消火器の備え付けと、使用方法を適切に行うことを地区内に訴えると同時に、予防消防の徹底を各家庭に訴え、火災を出さない事がまず第一で日常の火の用心を一層訴える

又地元消防団として、飯田市や区に対し消防団としての要求を出す計画である。

先にもふれた消防力基準の中での問題点、早急に改善されたいのは、水利です。市営水道が時又にはあるのだが現在設置されている消火栓は地区全域でも、最近増設された所を加えても三ケ所しか無いのです。市民の暮し、生命と財産を守るのはただ単に消防団の仕事でなく、市の責任ではないでしょうか。貯水池を作るにも地元負担金が多すぎて、たくさんの水利がほしいのに出来ないのが現状です。地元負担金が無ければ工事が出来ない事は、市政や議会が住民サイドに立ちきれない点と市財政の貧困にあるのではないでしょうか。又、消防署・消防団もポンプ操法競技会が最大の行事の一つになり、競技会のための競技会になり、本来の目的である技術の向上実践に即したポンプ操法がややもすると忘れられ、重点が地域の安全を守る立場から離れて消防団の行事が進められているのではないでしょうか。一部の幹部が研究・討議しても安全を守る力は全団員の力の結集がなくては出来ないでしょう。飯田市の消防署に要望したいのは、消防力測定七項目より科学的で総合的な測定を飯田市消防団と共に行ってもらいたいものです。事が起きてでは遅すぎるのですから。又、常設消防署の要求が益々多くなる点と、消防団の機械・器具の充実を切望します。

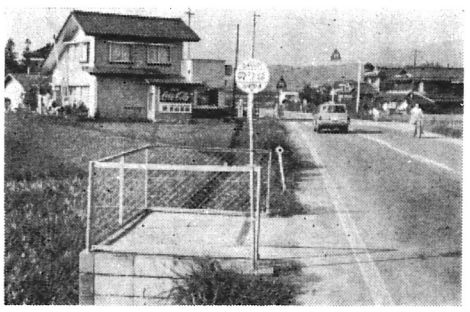
地元の自治協議会や時又区会にも今回を機に時又商店街の防災を研究する委員会なりが開かれることを希望し平和な暮しが保証された地区にしたいものです。

桐林バイパスに

バス待合所

桐林の学校前バス停の拡張工事が完成した。下条行きバス運転開始により作られたバス停は信南交通で建てたバス停の標識が有るだけで、バスを待つ人達は道路の端に立って待っていたが増々ふえる自動車に直線コースとあって、バス停近くは毎日自動車レースが展開されており、もしバスを待つ人達の中へ突入してきたら大事故になる為、桐林区で退避所を作るように市の交通安全課を通じて建設事務所へ申請したところ許可がおり完成のはこびとなった。費用については信南交通と交渉したところ何分赤字路線の為全部は出せないとのことで材料費の半分を信南交通で残りを桐林区で出すことになっている。又立派な退避所が出きたので、ベンチの設置も検討中であるということです。

（完成したバス待合所）



今年も夏の成人式

国民に、はかりしれない悲劇をもたらした戦いが終って二十六年二十六回目の終戦記念日を迎えた八月十五日、簡素で、かつ有意義な成人式をと、飯田市では昨年に続き、真夏の太陽の下で成人式が行なわれました。

会場が市営球場の為、暑くなる前にと午前八時三十分に開会、該当者の約六十%の八百人ほどが集まりました。竜丘地区では成人該当者八十六人の内六十人が参加。式には、市長・議長をはじめ市連青団長市連婦会長等の祝辞があり、式は三十分ほどで終り、そのあと、長姫高校の吹奏楽の演奏つづいて「若者たち」「二十才」などの全員合唱最後にフォークダンスを皆で楽しんだ。

冬の成人式に比べ、男子はワイシャツにズボン女子はワンピースといったかなりリラックスした姿でした。参加された多くの人達は、「年の上では成人になったが気持は今までとかわらない」という声が聞かれた。

尚、成人式終了後竜丘地区の同級会が大宮温泉で行なわれ、参加者は改めておとなになったことをビールで乾杯し、おとなの仲間入りを祝った。

ポンプ操法

桐林班が二位

今年も消防団のポンプ操法競技会が行なわれた。

八月二十二日に市の大会が松尾小学校々庭で行なわれ、竜丘からは可搬式ポンプには桐林班がソフト吸管式自動車ポンプの部には時又班がそれぞれ出場し桐林班は二位、時又班は五位に入った。この結果、桐林班は九月六日に行われた飯伊大会に出場した。

飯伊大会は市田の青少年広場で行なわれ、可搬ポンプの部に出場した桐林班は練習の成果を充分に発揮し、出場十チーム中二位に入賞した。なお一位は清内路チーム

五百点余

民俗資料収集される

公民館文化部では、本年度の中心的事業のひとつとして民俗資料の調査、収集に取組んでいます。

これは、各分館の文化部員が各戸を訪問し、民俗資料の有無の調査と収集（所有者の御理解、御協力を頂けたものについては寄贈してもらうの意味）を行ない、収集した物を一堂に集め保存し生活文化の推移が一目でわかる様にしようというものです。八月には各戸に文化部員が民俗資料調査表を持って廻られ、八月二十九日の一回目の収集には五〇〇点余の資料の寄付がありました。その保存場所として廃館となっていた記念館（学校横）の整備も終了し、搬入された資料の整理と分類を行い保存することになっています。

ところで民俗資料とは〃衣食住生業、信仰、年中行事等に関する風俗習慣及び、これに用いられる衣服、器具、家具、その他の物件で、我国民の生活の推移の理解の為、欠く事の出来ないもの…〃で有形・無形の物があると、文化財保護法でうたっている。

さらに同法は、その積極的保護を宣言している。

ひと口で言えば民俗資料とは、我々の祖先が日常茶飯に使用して来たもので、どこにでもある〃古物〃〃昔物〃の事で、何も高価、高貴品でもなく芸術品でもない。いわゆる失なわれゆく民族の歴史を物語る資料の事である。さらに又、生活の中に溶けこんでいる風俗・慣習のことです。

民俗資料の性質上、時代と共に又、現在の様に経済社会の高度な発展・生活文化の変遷の中にあっては急速に失なわれつつあることは明白です。

今こそそれを収集し、保存するという事は全くタイムリーであり大切な事なのです。

尚、八月に入って飯田市教育委員会から、民俗資料の収集依頼が各公民館に通達されて来ました。ただ文化部、教育委員会と言い収集保存に対する資金的裏付が皆無であるということはどう考えたら良いでしょうか。

資料は寄贈しても保存場所がない、「せめて独立公民館でもあれば」という人は大勢います。

何はともあれ私達の身のまわりにある民俗資料で寄贈出来るものは率先して出して頂き、小中学生は勿論、誰もが利用出来る様な立派な資料収集を行ない後世に送り継ぎたいものである。

（収集された民俗資料の数々）

鉛筆かついで

駄科念通寺下を通り、新井原公民館から三日市場へ向いて行くと交差点に「明星学園」という標柱が有る。そこから、右折し一段上ると一面桑園自然環境に恵まれた緑の中に有る近代的な建物、それが今回訪れた精神薄弱児収容施設社会福祉法人「明星学園」である。素晴らしい建物の中、応接室にて園長先生のお話を聞く。

昭和四十四年四月開園というまだ新しい学園、児童福祉法に基き県内各地の精薄児を預り、将来独立自活出来る子供に仕上げる為の指導、訓練、集団生活がされている。現在は、四十七名（定員五十名）の児童と十八名の職員が一体となって学園生活を送っている。

この地に出来た経緯は、昭和三十六年に出来た社会福祉法人「明星会」が鼎で保育園を開き、その中で地域に智恵遅れの子供の多い事に気づき、児童福祉事業の一貫として、この様な子供の入る所を作ろうと四十年に決り、当時明星会の役員だった桐林の故中島清志さんの世話で、この新井原に出来る事になった。県内には同じ施設が八ケ所有るとの事。

「この子らに愛を」

実態を認識し後おしを

明星学園

学園の中は、四クラスに知能程度により分けられ、生活訓練・学習訓練・情操機能訓練が行われている。実際には、先生の意志を様々な状態の子に伝えるのに苦労するそうだ。中には、排出感覚の無い子もいて、毎日同じ事を操返し習慣として出来る様にさせている先生も保母さんも、子供に追われ無限の奉仕に夢中で、なかなかゆとりがないのが現実だ。折角仕事に油が乗った保母さんがお嫁に行く年頃になっちゃうのが残念だと園長は言う。

この様な指導で十八才まで指導して、社会に送り出す。まだ不完全な子は「西駒郷」へ預けるそうだ。

でも、足りない十八才以上の施設を行政面でもっと充実させると同時に、めんどうを見る職員不足教育資金不足の貧困な社会福祉財政を教えて欲しいと望まれていた。

また、折角環境の良い場所で有りながら、毎日医者へ通う児童がいる為、交通便・道路が悪く苦労の種になっているとの事。

来年度より、まだ家庭にいる重度精神薄弱児の収容所を新設、二十名を預かる事になっている。そして、園長先生の将来の夢として「この地に農業コロニーを開きたい」と話された。

参考までに、こういった子供を施設へ預けたい時は、県の児童相談所・市の福祉事務所へ申し出ればよいそうです。

自分の身になってみなければ感じない、同じ人間で有りながら、生れながらの形だけで社会から偏見、差別され易いこの子ら、有ってはならないこの施設を知って欲しいと同時に、突然変異から出来るこの子らを無くする（生まない）運動をして行ってもらいたいと強く望まれた。

そして「地元の方々に気軽に立ち寄っていただき、実態を把握し認識の度合を強めて、こういう人達が幸せになる後押しをしていただきたい」と述べられた。

充分な研究を

大平開発構想

竜丘と伊賀良の境、臼井、大平水呑原をゴルフ場にという構想が立てられ、具体的な研究と計画が進んでいる。

この構想の背景には、計画に含まれている駄科区・桐林区の山林が人件費の上昇と、材木代の下落により今迄区財政にそろそろプラスとなっていた山林資源が少なく又、のぞめなくなり、膨張して来た区財政をなんとかしなくてはという問題がおこって来た。こうした中で大平・水呑原・臼井原に土地をもつ駄科、桐林、三日市場の区が中心となり、大平・臼井原・水呑原開発期成同盟会が四十二年二月に発足した。

こうしてこの期成同盟会が中心となり市の方へ開発を申請していた。

今度具体的に研究することとなった会社は、東京の地産という不動産会社で、各地にゴルフ場等を開発しており、計画によれば、三十万坪の山林・畑を買入二十万坪のゴルフ場と十万坪の宅地を作るというもの、総予算十五億円でゴルフ場は、国際試合の出来るものを十八ホール、十万坪の宅地造成の中には、道路・自然公園などの公共用地三万坪も含まれ、七万坪の別荘の宅地造成がなされるという。

このように計画がされているが一、保安林が地域内に多いこと、二、この地域が、農振法の適用地域であること、三、総面積の二十五%をしめる農地の耕作者の了解をどの程度えられるか。四、道路のつかえをどうするか、この四点が問題とされている。中でも三の農地の耕作者の了解をえることが一番むずかしい問題のようだ。面積が膨大なだけに潰地も多く耕地の大半をうしなう人もいる。

その後、駄科、桐林、三日市場の各区で代表委員を選び意見の調整をすることになっている。

目下の所、市・会社・地元の意見の差があり、又、農家が秋蚕等農繁期に入ったため、具体的に話の進むのは農繁期明けといった所ともあれ計画が大きく地域も広いため、色々な問題点も多い、中央道開通後を見こした計画であり、農業の今後を考えた場合の農地の考え方等、中央道開通後はどうあるべきかを考えた上での結論を出したいものである。

ヤブ蚊

▲夏の夜空を色どる花火、川面に映える仕掛花火、金魚花火、そして御霊が筏に揺られて光の流れをつくる光景は実に見事なもの、うら盆の一夜を充分に楽しませてくれる。

▲この灯籠流し、いつの頃に始まったものか知るよしもないが、毎年地域住民と共に盛大に行なわれて来た、今年も二万何千と言う人人が小さな時又の街を道狭しと右往左往、この伝統ある、由緒ある民俗的行事が永く、今日まで続いている事に対して敬意を表したい

▲しかし、高度成長のあおりか、時代の変遷と共にこの大事業が、年々困難となって、商店界関係者を苦悩させている。時又という小さな町、発展性の乏しい町にあって、初午祭り、灯籠流し、と二つの大きな事業を抱えているからである。しかしこの歴史的な祭りに支えられて発展して来た事もまた否定出来ない事実だ。他地区には見られない特異な存在である。

▲金の支配する世代にあって、事業の成否も又、金しだいだ。毎年多額の資金を必要とする中で、小さな商店街のみの寄付行為では、今や限界に来ている。高度成長にのった商業的利潤を追った祭りでは全くないからだ。今こそ市は、行政の中で、財政的にもっと援助されたい。ポスターのみで、後は知らん顔では困る。飯田観光協会の名のもと、もっと地域に即した事業には援助すべきだ。市は、観光開発は点から線、線から面でなければと強調するが、自然開発のみならず、歴史的文化を生かすのも観光行政の基本だと思う。

過疎化に追いうち

飯田線の「合理化」

時又・駄科駅＝貨物・手荷物廃止

○…〝飯田線の経営改善について〟ということで飯田線を管理している静…○
○…岡鉄道管理局は、八月二日時又駅・駄科駅などの荷物取扱や貨物取扱…○
○…をやめる事を一方的に通告して来た。……○

静岡鉄道管理局は国鉄財政の赤字を第一に揚げ、営業体制の近代化という名目で「合理化」「近代化」をはかろうとしている。管理局が配布したパンフレットによれば「飯田線は地方交通線として重要な線区でありますので、線区や駅の廃止は考えておりません」が輸送構造の変化に対応して営業体制の近代化を行うと共に、線区の営業収支の改善をはかろうするもの……」と前置し、最近の利用は線内九三駅全部の乗車人員は一日約七万六千五百人で昭和四十年に比較し現在約22%の減少を示し今後とも利用客の減少が見込まれ貨物輸送は一日約三千三百七拾トンの取扱となり、線内特有の農業・林業・鉱業の各産業品の発送は沿線道路網の整備に伴うトラック輸送への転移等により、昭和四十年に比較し現在約13%の減少を示し、セメント・石油類等の到着が主体となっている。昭和四十四年度の赤字額は約四十億円で、この線区を運営するための経費の総額は運賃収入の約三倍にもなっており、今後も年々悪化が予想される事を理由に、今後の飯田線の輸送については、中京や関東の主要都市への直通サービスとして優等列車の増発、増強、新形電車の導入等に今後とも努力をし、ローカル輸送については、地域の実情を考慮したうえで適正化を行うまた観光客の誘致、地域の方々の旅行の利便のため、飯田・伊那市両駅に営業センターを設置しサービスの改善、貨物については飯田・沢渡周辺のセメント・石油基地への輸送と、季節的に、伊那谷特産の青果物の輸送が中心となり万全をはかる。

飯田市周辺関係では、㈠停留所化……川路駅・下山村駅の職員の配置をやめ停留所とする。列車は従来どおり停車、乗車券を車掌から求める。定期券は相手駅か、隣接の職員配置駅で求めなければならない。㈡業務委託駅……桜町駅を駅の業務を部外に委託する乗車券等の発売は従来どおり、受託者は国鉄退職者。㈢荷物取扱駅の集約……川路駅・時又駅・駄科駅・下山村駅・鼎駅・桜町駅・元善光寺駅は手荷物の取扱を廃止到着手小荷物も取扱わない。引続き取扱う駅は天竜峡駅・伊那八幡駅・飯田駅・市田駅まで持って行かなければならない。㈣貨物取扱駅の集約……天竜峡駅・川路駅時又駅・駄科駅・伊那八幡駅・鼎駅・伊那上郷駅・元善光寺駅を、車扱、小口扱貨物の取扱いを廃止元善光寺駅の専用線は従来どおりの取扱い。引続き取扱う駅は、飯田駅、市田駅の二駅。㈤営業センター設置……旅行相談、貨物運送案内等を積極的に行うセンターを飯田駅に新設。㈥自動券売機の設置……飯田駅に新設し、近距離旅客に対し乗車券発売の近代化をはかる。以上六点が静岡鉄道管理局の方針で十二月一日実施を通達して来た。この一方的な国鉄提案は住民の声を全く無視し、伊那谷の政治・経済・文化面に多大の影響を与え、過疎化現象に追打ちをかけ、益々生活しにくくなる。

今回の飯田線の経営改善は、先年の国鉄財政再建計画の十年間に三兆七千億円の設備投資を行い、国鉄を大資本奉仕に役立てる計画で、その財源として、政府からわずかな利子補給とひきかえに、今まで三回の運賃値上げ、国鉄労働者への十六万人「合理化」を強要しようというものと、三千百駅の廃止・無人化と一連の動きとなっている。八月十七日飯田線合理化都市民対策会議が開かれ『国鉄提案の全面撤回を求め、十二月一日実施計画を白紙に戻す』目標が決定された。市議会は桜町駅の民間委託反対と時又駅・八幡駅の貨物取扱廃止反対の三案件を総務委員会で陳状を採択。市として運動を推めることとなり、関係各市町村と共に八月二十八日は県知事への陳状、八月三十一日には静岡鉄道管理局へ陳状。飯田線北部運輸長へ反対書を送附した。住民全体が今回の飯田線の問題を正しく受け止め、独占資本の物資輸送や高速幹線への巨額な投資などを中心とする「再建計画」を、伊那谷の農業と郷土産業を守り、輸送の安全と確実性を確得して郡市民の生活を守るための国民に奉仕する再建計画にあらため、飯田線の輸送力の増強を求め、今回の計画を白紙にさせましょう。

二十才になって

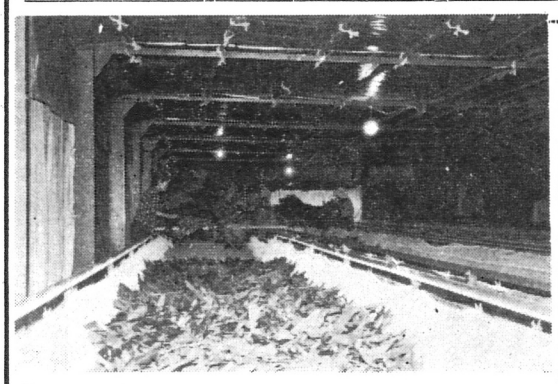
どこかで待っている人をさがして、さがしつづけた私……。

お掃除をしながら口ずさむこの歌、私も、もう二十才なんだなー二十才って？法律の上では、お酒や煙草がゆるされるのに、今の青年のほとんどは二十才前から、お酒を飲んだり、煙草をすったりしているから、成人をむかえても実感がわかないでしょう。

私は、「二十才」を耳にすると「こわい」という言葉が頭に浮びます。何も知らずに、社会に出て二年過ぎ、何も知らないままで、大人の世界へ入らなければならない。自分一人の力では歩くことができず、人の意見に左右されがちな私なのに、二十才になれば、何をするにも自分で、全ての責任を負わなければならない。そして、紙一枚によって社会が変るという選挙。政治にぜんぜん関心のない私、これからは選挙をしなければならない。でも、だれを入れたらよいのかわからない。明るく住み良い社会を作るには、どの党を入れたらよいのか。それにはまず「学習」と思い、学習の場を求め、「竜丘青年会」を知りました。そこで、多くの友達を知り、そしていろんな学習をしたり、職場の悩みなどを話し合う青年会に魅力を感じるようになり、夜になるのが楽しみで、毎晩のように青年会に出ていました。始めのうちは、両親が、嫁入り前の娘が、毎晩家を出ていてはいけないと反対されましたが、両親に、二十才までは、私のやりたい事をさせてほしいと頼んだら、ただ一口「自分でとった行動は自分で責任をとれ、それが出きれば、何もいわない」といわれました。そのころの私は、「はいはい」とただ聞き流しにしていましたが、二十才になってその意味がわかりました。もう大人の仲間入り、親にあまえてはいられない。自分一人の力で、この社会を進んでいかねばならない。二十才になった今の私には、青年会をやめる気持にはなれません。ますます他の青年達と「学習」していきたいと思っています。これからが私達にとって、学習が必要になるのです。両親の前で口には出さないけれども、心の中では、感謝の気持でいっぱいです。

明るく住み良い社会を作るには、まず、青年が学習し、動かなければだめだと思います。「青年が動けば社会が変る」この言葉を忘れず、多くの仲間達と学習し、活動していきたいと思っています。

養蚕・スケッチ



建て坪七十、総工費百万、年間掃立二百㌘、まゆを生産する工場が竜丘に点々とお目みえした。……村じゅうに機嫌とらるる蚕かな……一茶の名句もここでは浮ばない。〝技術革新〟長い胎動から今脱皮したばかりの姿

○　○　○

それにしても吹く風は冷いと輸入し、輸入生糸は年々増加、更に、自由化・中国貿易の拡大。円切上処置と輸入生糸が国内産生糸を上回るは必至と云う。政府・財界には日本は安い生糸を輸入し加工、工業化を図る、と冷い話が続く。遠い昔から〝お蚕さま〟と親しまれ農家を潤し、日本の工業を起し外貨をかせいだ、いわば建国の虫今朝も激動の日本経済養蚕への影響を気にしつつ給桑に忙しい。

龍丘村誌決算報告

竜丘村誌刊行委員会より村誌の決算書がまいりましたので紙面にて報告致します。

昭和四十二年四月発足した竜丘村誌刊行委員会は、村誌の売捌きが全部終りましたので（四十六年四月）昭和四十六年七月十九日総会を開き、次のとおり村誌の経理を決算して委員会を解散致しましたので、地区の皆様に御報告申します。

収入合計額　三、三三七、五八八円

内訳

㈠村誌代収入　二、四三〇、五〇〇円
地区内一、五〇〇円×七五九冊
地区外一、八〇〇円×一四〇冊
同後納二、〇〇〇円×一二二冊
後の注文三、〇〇〇円×二六六冊
寄贈分　〇×　十四冊

㈡送料収入　一二、四五〇円
㈢補助金（自治会一七万）
（財産区六五万）
八二〇、〇〇〇円
㈣寄附金（三四人分）
四八、八〇〇円
㈤雑収入（利子外）
二五、八三八円

支出合計額　三、三一七、一三二円

内訳

㈠村誌印刷
製本代（一、三〇〇冊）
二、八〇〇、〇〇〇円
㈡報酬手当等
二二二、九〇〇円
㈢会議費
三一、六七二円
㈣旅費
二三、七九〇円
㈤編集費
四七、五六五円
㈥通信運搬費
七四、六三四円
㈦借入金利息
二二七、五七〇円

差引残額　二〇、四五七円（自治会へ納入）

昭和四六年七月一九日
竜丘村誌刊行委員会

水泳・盆の野球大会

熱戦をくりひろげる

八月八日、公民館主催の水泳大会が三十度を越える暑さの中で、小学校のプールで午後三時より行なわれました。公民館長さんの挨拶があり大会が始まり、二十五メートル自由形、二十五メートル平泳ぎ、五十メートル自由形と小学生、中学生、一般と三回に分けて競争を行い、その後潜水競技で二十五メートルのコースでどの位潜水して行けるかの競技で長い人は小学生で二十五メートルをターンしてまだ潜水していた人もいました。チューブ乗り、スイカ割りと行い水球競技は一般で人数の関係で一般の人と青年会とで行い青年会が若い所で勝ち最後に宝さがしを行い五時過ぎ終りました。

また公民館主催で各部落対抗の盆野球が八月十五日午前七時半より小学校の校庭で行なわれ、部落に於いて予選を勝ちぬいた八チームで熱戦が行なわれ、桐林の上北チームが優勝しました。

来年は優勝しようと今から来年の盆野球をまちこがれている人もいました。

（写真は水泳大会の一コマ）

全国大会へ

伊原さん＝時又

来たる十一月、和歌山で開催される第七回身障者スポーツ大会に時又の伊原ふじ子さん（29）が、六十Mと走り巾とびの二種目に、県代表として出場されます。

八月八日、松本で行なわれた県大会に、初めて参加され優秀な成績を修められ、このたびの出場となった。県代表16名の内、飯田市では伊原さんただひとりである。

この大会は、多くの人が参加できるように、全国大会には一度しか出場できないとの事です。今、伊原さんは、県大会に共に出場され、やり正確投げで三位になられたご主人の、暖いご理解の元で、「練習場がないのでたいした練習もできない」と言いながらも、毎晩なわとび等のトレーニングに励んでおられる。一児の母である。

随想リレー（90回）

民俗資料の収集

桐林　林直人

今年度の公民館事業の一つとして民俗資料の収集がある、その第一回を去る八月二十九日に行った。地区内へ全面的に理解されていなかった面もあったかと思うが、この日収集された貴重な資料は五百余点に達し、御寄附願えないもので所有目録になるものも二百点余りになる。

御協力下さった御家庭の皆様に心から御礼申し上げなければならない。まだ地区によっては趣旨が徹底されていなかった面もあり、ほとんど出品されていない所や、御寄附願えるのに収集に廻われなかった地区等も有った訳だが、今後一層の御協力を御願いしたい。

この度収集された内容も非常に豊富でその一部には古文書、古銭鎧、ランプ、上川路区では区で保存してあった腕用ポンプ一式、それに農耕具蚕具、等数え上げればきりがない。

今後この「有形民俗資料」の収集についてはこれを分類し、現在収納されている記念館へ展示しなければならない。その中で第二、第三、の収集を続ける訳だが。

今一つ、「無形民俗資料」の収集も、もっと大事業であり重要な事業ではないかと思う。年度内で形ち造る事は当然出来ないが、初年度としては、仮称「古老の語る竜丘」と言う事業名で始める。

土地に埋れつゝある逸話、土地に芽生え長く語り継がれた民話、各地にある寺院や施設にまつわる言い伝えや、行事に関する話等と数限りないと思う。

老人学園の方々を中心に、各区単位等で、分館長さんや区長さん方の応援を得て集録に廻わりたいと考えている。

学問的に言うと大変難かしい事の様ですが、私共公民館としてはこれら収集出来た資料をもとに将来なんらかの形に編集して頂ける団体を作らなければならないと思っている。

五月に今年度の公民館組織が出来、事業計画が立てられた、と同時に日程を組んで見ると相当な困難が予想された。

部員の数も十五名しかいない、時間的にも相当強行な事もわかっていた。三六災写真資料展直後から十数回に及ぶ部員会、各種団体代表の方々への呼び掛け、先進地の視察、分館長会に続き分館単位の活動に移って頂く等、当初の計画に従って進めて来た。

我々の全く乏しい知識や準備不足、その上強行な日程で各方面に大変な御迷惑を掛けた事をお許びする次第です。

記念館を応急的に私共が手入れして収納した訳であるが、屋根の雨漏り、硝子の破損、床の老朽腐蝕も著しく、以前の立派な記念館の姿は全く見られず、今後の収納展示方法に一抹の不安を残している。小学校でも資料は必要だが空室が無いとの校長先生の話しもあり、各戸から貴重な又重要な資料を提供して頂いても展示館の問題がまだ解決されていないのが現状だ。今後の収集と同時に解決してゆかなければならない最も重大な問題をまだ今後に残しそうだ。

あの人この人

◎伸びよ健やかに

氏名　部落　父名
林美恵子　桐林　治人
下平　弘幸　駄科　幸三
林　幸広　桐林　喜市
木下　隆夫　時又　修
園原やよい　時又　正
酒向　克幸　時又　伸幸
原　偉樹　桐林　広志
岡村　博　桐林　徹
玉置　次郎　駄科　作男
伊原　明美　時又　一雄
牧内　庸子　駄科　安弘
関島　多美　駄科　芳彦
伊原　康弘　駄科　武彦
横山　明美　時又　明
木下　雅雄　駄科　武彦
市瀬　孝次　駄科　則孝
熊谷美保子　桐林　和男
久保田信子　時又　清
今村　嘉秀　桐林　鉄次郎
下田　洋一　時又　健夫
前島　知祭　桐林　政道

◎永遠に幸あれ

（小野　重美　小久保敬子）静岡県へ
（下平　澄瑞　和田せい子）時又
（原　久男　本村　裕子）駄科
（下平　初臣　松沢　秀子）駄科
（小池　明市　市岡　静子）駄科
（川口　実　川手恵美子）駄科
（塩沢　三郎　牧内　俊）桐林　川路より
（下平　尚市　宮沢　富子）駄科　松川町より
（塩沢　佳稲　松本登美子）駄科　更埴市より
（下平　久雄　羽場ひろこ）駄科　下久堅より
（熊谷　千昭　中島みよ子）駄科　阿智村へ
（伊藤　喜三　秦　君子）駄科　天竜村より
（市村　和男　秋田久美子）時又　高森町より
（木下　竹彦　松島美恵子）駄科　桜町より
（牧島　茂幸　宮沢ふさ子）駄科　松尾より

●御冥福を祈る

氏名　部落　性別　年齢
沖田　米吉　時又　男　八二才
木下なおゑ　上川路　女　七四
吉川　留平　桐林　男　六七
熊谷　清　駄科　男　二〇
岡村　史郎　桐林　男　六二
新井　頼子　時又　女　一七
井口寿々ゑ　上川路　女　七七
塩沢　良三　時又　男　七一
青島ふさえ　時又　女　八一
関島　かな　駄科　女　七四
井口　亀代　上川路　女　六七

編集後記

編集をしながら漱石の草枕の一節を思いだした。「智に働けば角が立つ。情に棹させば流される。意地を通せば窮屈だ。……」兎角に新聞の発行はむずかしい。